

【 園全体評価 】

27年度の評価点	28年度への課題・改善点
<ul style="list-style-type: none"> ・事故対策防止員を設け、危機管理の見直し改善を行った。(3) ・保護者に対し笑顔で挨拶や対応が出来た。(2) ・保護者に園の様子を見てもらい、コミュニケーションをとる機会を作っている。 ・かわら版や写真で園児の様子を保護者に伝えている。(2) ・協力して進めることが出来た。 ・地域との交流を大切にしている。(3) ・問題について話し合い、改善策を検討し、実践している。 ・アンケートを実施し見直しや改善を行っている。(2) ・異年齢児との交流(3) ・行事の内容を話し合い、改善しながら進めた。(2) ・アレルギーの対応について声をかけ合い進めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちと一緒に楽しんだり、驚いたりできるよう意識して子どもたちに寄り添いたい。 ・友だちの良い所を認め合い、お互いが成長できるような環境を整えてあげる。 ・未満児と以上児との交流を持つ。 ・施設全体の事を理解できていないので、積極的に理解できるように努めていきたい。 ・会議など、一人一人が意見を持つ。意見交換が活発になるようにする。(4) ・1号認定の子どもの行事参加の仕方について検討していかなければならない。 ・コーナーの見直しや環境性の工夫。(2) ・報告、連絡、相談の徹底。(9) ・掃除、消毒、整理整頓をもっとこまめに行う。(3) ・定時にみんなで帰る。(3) ・相談しやすい雰囲気作り。(2) ・担当クラス以外との協力、連携を取っていく。(2) ・認定こども園についての理解を深める。 ・普通番の時間を増やし保育の準備かける時間を増やす。 ・同じ内容のカリキュラムではなく、時には観察や実験したりなど深みのあるカリキュラムを取り入れていく。 ・テーマについての取り組みを話し合う。 ・障害児の状況が把握できるように伝える。 ・事故やけが予防を意識して、事故後の対応に取り組む。

【 個人評価 】

27年度の評価点	28年度の課題点・改善策
<ul style="list-style-type: none"> ・体調管理をきちんとできた。(4) ・10分前出勤を心掛けた。遅刻をしなかった。(3) ・笑顔で接した。(2) ・年長へのサポートが出来た。 ・担当クラスの話し合いを多く持つようにした。(2) ・気になる子に日中の様子を保護者へ伝え、家庭との連携を図るようにした。 ・保護者とコミュニケーションを取り、保育できた。信頼関係を築けた。(5) ・園児とスキンシップを取り、信頼関係が築けるよう心がけた。(4) ・園児一人一人に合った援助や環境設定をするように努めた。(3) ・クラスの子とたくさん関わる事が出来た。 ・1年間体調を崩さず過ごす事が出来た。(2) ・分からない事など他の職員へ早めに確認や相談をする事ができた。(4) ・サッカー大会に深く関わることができた。 ・誕生会や係りなど、子どもの「やってみよう」に事える事が出来た。 ・ピアノの練習をした。 ・ペープサートや手遊びなど多く取り入れた。 ・見通しを持って準備や保育ができた。 ・責任をもって、自分の仕事に取り組んだ。 ・ケガ防止に努めた。(2) ・提出物の期限を守った。 ・室内の消毒などこまめにするように努めた。 ・リーダーの先生のサポートが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・禁止語を使い過ぎてしまったり、口調が強くなる事があったので、見守り、穏やかな気持ちで接するように心がける。(7) ・言葉遣いや声の大きさ、目線など威圧感があったので、子どもの目線に立ち、優しいトーンと言葉づかいを徹底したい。 ・仕事に優先順位を付け、計画を立て、効率よく仕事が出来るようにしたい。(2) ・退勤時間を守る。(2) ・ゆとりを持つ。(5) ・報告・連絡・相談不足。必ず行う。(6) ・気になることはそのまましておかず、その都度話し合う。 ・言われてやる、言われてからやるではなく自分で考えて動く。(3) ・積極的に行動する。(4) ・意見を出す。会議で発言する。(2) ・日々の保育について、反省や見直しをする。 ・仕事を覚えることで精一杯だったので、園全体の仕事や子どもに深く関われるようにする。 ・職員へ対して指示を出し過ぎてしまうので、もっと話し合い、若い職員も自分で考えて保育出来るようにしていく。 ・後輩職員の育て方、指導。(4) ・園全体への目配せをする。 ・自信のスキルアップに努める。 ・ピアノの練習をする。(2) ・もっと周りを見て、臨機応変に対応したい。 ・保育の質を高める努力や工夫をする。・保育の知識を深める。(5) ・見守る保育をもっと意識した環境作りをしていく。 ・発達に応じた遊びの工夫。 ・特別支援の子が友だちと関われるよう指導していく。 ・保護者へ対しもっとアドバイスや話を来る機会を増やす。(3) ・コミュニケーション能力を高め、相手が話しやすくなるような声掛けや雰囲気作りの工夫をしたい。 ・書類の間違いを繰り返してしまったので、複数人で確認をする。 ・書類の提出が遅くなってしまう事があった。(2) ・テーマへの関わり方をもう少し考えていく。 ・コーナーの工夫をしていく。 ・手作りおもちゃを作れなかった。(2) ・丁寧な言葉で話し、文字で書く。 ・保護者への伝え忘れがあったので、しっかりと伝えていく。 ・体調管理をしっかりと行う。(2)